

平成 23 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	24	ごみを減らす生活を送る	評価責任者 (基本施策主管課長)	清掃事業課長 馬場 幸雄
-------	----	-------------	---------------------	-----------------

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標 意欲	政策 環境への取り組みが進むまちづくり
① 市民意識調査結果		②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果 ごみを減らすことへの意識は高く必要度は認識されている。 満足度についても高い傾向にある。 指定ごみ袋の有料化と資源ごみの分別、特に容器包装プラスチックの収集は効果を表している。 資源再利用回収奨励金交付事業は、実施団体の意識が高い。
③ 基本施策の現状と課題	指定ごみ袋の有料化は、可燃ごみの減量を図っている。 容器包装プラスチックの回収も可燃ごみの減量を図っている。 資源ごみの分別徹底により資源のリサイクルに努める。 生ごみ処理容器購入補助金事業は、生ごみの減量を図っている。	
④ 基本施策の意図、今後の展望	資源循環型形成社会を推進するため資源化ごみの分別徹底より、リサイクルを進める。 資源再利用回収交付金事業及び生ごみ処理容器購入費補助金事業のあり方(制度)について、住民自治協議会と協議し一定の方向性を定める。	

⑥基本施策構成事務事業の評価

担当課	ID	事業名	改善余地の有無	事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位	
				H22 決算額	H23 予算額	H24 所要額		
1	人権生活環境部 清掃事業課	501	一般廃棄物減量等推進事業		41,652	52,844	52,760	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
(以下 続紙)								
事業費 合計					41,652	52,844	52,760	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	可燃ごみの年間搬入量は減っているが、増加しないようにごみ分別の啓発を続ける。
2 事業構成の適当性(手段として最適か?)	資源再利用回収奨励金及び生ごみ処理容器購入補助金制度について、住民自治協議会と協議し、一定の方向を定める。
3 役割分担の妥当性	地域と連携してごみの分別を進める。
4 総合評価(今後の展開、事業の見直し等)	資源再利用回収奨励金及び生ごみ処理容器購入補助金のあり方(制度)について、住民自治協議会と協議し、平成25年度までに一定の方向を定める。 容器包装プラスチックをはじめ資源ごみの分別徹底を啓発し、資源循環型形成社会を推進する。

⑤基本施策指標の検討・設定

現況の課題、意図、今後の展望のキーワード		考えられる基本施策指標候補		優先順位
可燃ごみ減量推進		可燃ごみの搬入量の減少		1
生ごみの資源化		生ごみ処理容器購入費補助金交付件数		2
紙・布類の回収促進		実施団体の回収件数及び回収量		3

基本施策指標名	単位	過年度実績		評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H21	H22	H23	H25	H27			
1 可燃ごみ搬入量	目標	t	21164	20952	20742	19720		可燃ごみ年間搬入量	
	実績	t	20076	19788					
	達成率	%	94.9	94.4					
2 生ごみ処理容器交付件数	目標	件	103	82	103	103		交付件数	
	実績	件	75	75					
	達成率	%	72.8	91.5					
3 資源再利用回収奨励金交付件数	目標	件	132	170	170	170		交付件数	
	実績	件	164	200					
	達成率	%	124.2	117.6					
	目標								
	実績								
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!					